

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	後志胆振森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の中央から南西部に位置する後志胆振森林計画区の国有林野129,930haである。</p> <p>この地域は、ボンネアンチシ山(1,145m)を最高峰とする積丹半島脊梁山稜の南西部に位置する森林と、ニセコアンヌプリから雷電峠まで続くニセコ火山群、雷電火山群に連なる峰に形成されている岩内地域と、三角山から無意根山、中山峠等に続く山稜に位置する森林と、貫気別岳周辺等の森林に分かれている倶知安地域及び、中山峠から美笛峠、ホロホロ山、オロフレ山までの山稜、また、それから分かれた鷲別岳及び登別温泉に続く山稜に位置する森林と、有珠山及び洞爺湖周辺等の森林に分かれている室蘭地域さらに、北限のブナ林が成立しており、本州日本海側のブナ・チシマザサ群集と組成的に同質とされる天然林が分布している黒松内地域からなる。これらの森林については、森林の8割がブナ・イタヤカエデ・カンパ類等の広葉樹天然林を主体とし、2割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。</p> <p>これらの森林については、大部分が保安林となっており、地域の水源地として、また、沿岸漁業が盛んな日本海及び内浦湾の漁場の保全等に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められているほか、火山を有していることや急峻な地形が多いことから、山地災害防止機能の発揮も求められている。</p> <p>また、火山や湖沼、森林、海岸などの自然美に富んだ景勝地が多く、支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国立公園及び狩場茂津多道立自然公園に指定されていること等から、登山やスキー、森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。さらに、北限のブナ林、大平山の石灰岩植生等の貴重な自然環境を有している。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">662 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">5,815 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">19.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">— km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,045,690 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	662 ha			保育面積	5,815 ha		路網整備	開設延長	19.4 km			改良延長	— km	総事業費			1,045,690 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	662 ha																				
		保育面積	5,815 ha																				
	路網整備	開設延長	19.4 km																				
		改良延長	— km																				
総事業費			1,045,690 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	7,623,114 千円																					
	総費用(C)	1,386,168 千円																					
	分析結果(B/C)	5.50																					
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考えている。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備

都道府県:北海道

施行箇所:後志胆振森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	952,194	
	流域貯水便益	645,176	
	水質浄化便益	1,365,696	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,822,996	
環境保全便益	炭素固定便益	724,215	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	292	
	木材生産確保・増進便益	297,223	
	森林管理等経費縮減便益	31,229	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	278,862	
維持管理費縮減便益		505,231	
総便益(B)		7,623,114	
総費用(C)		1,386,168	
費用便益比	$B \div C = \frac{7,623,114}{1,386,168} = 5.50$		

森林環境保全整備事業 後志胆振計画区(北海道) 事業概要図



対象計画区拡大図



